

第20回記念 JA茨木市旗争奪少年軟式野球大会

実施要綱

2022



主 催	茨木市スポーツ少年団野球部会
後 援	JA茨木市 茨 木 市
協 賛	NPO 法人 茨木市体育協会 ダイワマルエス株式会社 追 手 門 学 院 大 学 早稲田摂陵中学校・高等学校 メザンスポーツ

大会役員

名誉会長	茨木市農業協同組合	代表理事組合長	岡本 康夫
名誉顧問	参議院議員		辻元 清美
大会会長	茨木市スポーツ少年団野球部会	部長	伊藤 敏
大会副会長		副部長	森山 孝
		副部長	山本 泰弘
大会参与	茨木市長		福岡 洋一
	茨木市市民文化部	部長	中井 誠
	茨木市スポーツ推進課	課長	小西 勝二
	茨木市農業協同組合	代表理事専務	西上 聡
		常務理事	今西 勝彦
		代表監事	山本 浩一
	NPO法人 茨木市体育協会	会長	長田 佳久
	茨木市スポーツ少年団	本部長 野球部会会長	片桐 仁
		副本部長	田村 真克
		副本部長	阿野 由政
実行委員長	茨木市スポーツ少年団野球部会	事務局長	伊藤 信昭
		副実行委員長	竹内 直樹
			福田 竜二
			池田 尚史
審判長	茨木市スポーツ少年団野球部会	審判長	三輪 智
		副審判長	足立 純一
			荻田 明男
			山田 朝久

大会実施要綱

1. 主 催 茨木市スポーツ少年団 野球部会
2. 後 援 J A茨木市
茨木市
N P O法人 茨木市体育協会
3. 協 賛 ダイワマルエス株式会社
追手門学院大学
早稲田摂陵中学校・高等学校
メザンスポーツ
4. 参加資格 各市スポーツ少年団及び各少年軟式野球連盟に所属する
学童部（6年生以下）のチーム。1チームに限ります。
5. 開催日程 令和4年10月16日(日)、22日(土)、23日(日)、29日(土)
10月30日(日)、11月3日(木・祝)、5日(土)、6日(日)、
11月12日(土)、13(日)、19日(土)、20(日)、23日(水・祝)、
26日(土)
6. 試合会場 茨木市内各運動広場 万博記念公園野球場 他
会場の詳細は茨木市HP、野球部会HP等でご確認下さい。
7. 開 会 式 今年度に於いては、開会式は行いません。
8. 表 彰 優 勝 賞状・優勝旗・優勝杯・優勝メダル・J A副賞（お米）
準優勝 賞状・準優勝盾・準優勝杯・準優勝メダル・J A副賞（お米）
第三位 賞状・第三位盾・第三位メダル・J A副賞（お米）

J A 茨木市大会 年度別成績

		優勝		準優勝		第3位	
第1回	15年度	新金岡ヤンチャーズ	堺市	水尾グリーンファイターズ	茨木市	高野台バード少年野球クラブ	吹田市
第2回	16年度	長曽根ストロングス	堺市	キングジュニアーズ	高槻市	四宮ボンバーズ	門真市
第3回	17年度	長曽根ストロングス	堺市	岸和田ダイナマイツ	岸和田市	二島ジャガーズ	門真市
第4回	18年度	門真ブルーメッツ	門真市	キングジュニアーズ	高槻市	ジュニア千代田	河内長野市
第5回	19年度	長曽根ストロングス	堺市	浜ウインドキッズ	尼崎市	西南少年野球団エンデバーズ	箕面市
第6回	20年度	池田AG	池田市	枚方香里フェニックス	枚方市	長曽根ストロングス	堺市
第7回	21年度	池田レッドアーミー	池田市	長曽根ストロングス	堺市	河内長野青葉	河内長野市
第8回	22年度	枚方香里フェニックス	枚方市	塚本ニューバンブー	大阪市	池田レッドアーミー	池田市
第9回	23年度	長曽根ストロングス	堺市	仁徳ヤングース	堺市	御蔵山スポーツ少年団	宇治市
第10回	24年度	長曽根ストロングス	堺市	枚方レッズ	枚方市	新金岡東ビクトリー	堺市
第11回	25年度	長曽根ストロングス	堺市	春日ロジャース	茨木市	河南少年野球クラブ	河南町
第12回	26年度	長曽根ストロングス	堺市	西南少年野球団エンデバーズ	箕面市	仁徳ヤングース	堺市
第13回	27年度	河南少年野球クラブ	河南町	山田荘マシンガンズ	京都府	長曽根ストロングス	堺市
第14回	28年度	長曽根ストロングス	松原市	西長尾ライガース	枚方市	玉櫛スラッガー	茨木市
第15回	29年度	新家スターズ	泉南市	仁徳ヤングース	堺市	キングシャイアンス	枚方市
第16回	30年度	門真リトルユニオンズ	門真市	城東コスモボーイズ	大阪市	西南少年野球団エンデバーズ	箕面市
第17回	元年度	長曽根ストロングス	松原市	本山フレンズ	神戸市	河南少年野球クラブ	河南町
第18回	2年度	長曽根ストロングス	松原市	本山フレンズ	神戸市	河南少年野球クラブ	河南町
第19回	3年度	長曽根ストロングス	松原市	摂津コンドルズ	摂津市	西南少年野球団エンデバーズ	箕面市

大会規則

1. 本大会規則は、以下に定める以外は2022年度公認野球規則及び全軟連競技者必携に準ずる。
2. 大阪府秋季大会出場及び学校行事以外は試合日程の変更を認めない。
3. 試合はトーナメント方式とする。
4. 試合は6回までとし、試合開始より80分を過ぎて新しいイニングに入らない。同点の場合は抽選にて勝負を決する。
5. 3回以降10点差、5回以降7点差をもってコールドゲームとする。
6. 準決勝・3位決定戦および決勝戦もコールドゲームは適用する。
7. 準決勝・3位決定戦および決勝戦に限り、6回もしくは80分を過ぎて同点の場合、特別延長戦を1イニング行う。特別延長戦は、ノーアウト一、二塁、継続打順で行う。
8. 試合球はマルエスボールJ号球を使用し、大会本部で準備する。
9. 背番号については、選手は0番から99番までとし、主将は10番、監督は30番、コーチは28番、29番とする。監督不在の場合は、大会本部へ届け出れば代理監督としてコーチの背番号で指揮をとることができる。
10. 試合中ベンチ入りできるのは、登録された選手(20名以内)と、監督、コーチ2名、チーム代表、スコアラー1名の計5名以内とする。
なお、上記以外に救護班として2名のベンチ入りを認めるが、救護班が選手に対して競技上の指示、指導をすることはできない。
11. グラウンド内は一切禁煙とする。喫煙は、当該施設の取り決めに従うこと。
12. チームは試合開始30分前までに会場に到着し、原紙を含めオーダー表3部を本部に提出すること。用紙には必ず監督または代理監督の氏名を明記すること。試合開始予定時刻に到着しないチーム、および選手が9名に満たないチームは棄権とする。
13. 試合中、降雨・雷等で続行か中止かは審判員又は主催者が決定し、チームは意見などを申し出ることには出来ない。なお、5回終了をもって試合が成立するものとする。
14. 判定に対する抗議は、当該選手のほか監督が行うことができる。
15. 投手は変化球を禁止する。変化球を投げた場合は反則投球とし、ペナルティーを課す。ボークについては1回目から適用する。
16. 一人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。(70球に達したその打者に代打が送られた場合、代打者の打撃が完了するまで投球できる。)
投球数の管理は本部が行い、通告する。(本部がカウントする投球数を正とする。)
チームはあらかじめ、次の投手を準備しておく。(投球数が60球程度になれば、本部・球審よりベンチに準備を促す通告をする場合がある。)
投球時、ボーク等でルール上ボールカウントが増えないプレーの場合でも、投球数に含める。(投手が打者に対して投じた場合は、全て投球数に含める。牽制球等の送球や申告故意四球は投球数に含まれない。)
17. 監督は抗議の他にプレーヤーの交代、守備位置の変更を申し出ることができる。
18. 試合中の作戦タイムは次の回数までとし、1回30秒以内とする。
 - (1) 守備側「タイム」の回数
 - ①守備側のタイムは、1試合に3回以内とする。
尚、延長戦の場合には、1回。投手交代の場合は、回数に含まない。
 - ②捕手または内野手が、1試合に投手のもとへ行ける回数は3回以内とする。

また、監督が入れば「監督の1度」「内野手の1度」双方に1度数える。

尚、延長戦の場合には、1回行くことができる。

(2) 攻撃側「タイム」の回数

攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。

尚、延長戦の場合には、1回行くことができる。

[補足]守備側の作戦タイム時に走者などをベンチに呼び指示を出した場合、守備側作戦タイム終了時に各塁に選手が戻っていない場合、攻撃側の作戦タイムと見なし1回とカウントする。

19. 捕手は公認マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット及びファウルカップを必ず着用すること。尚、安全のため投球練習中も必ずマスクをつけて捕球すること。(ブルペンでの投球練習中も含む)
20. 打者、走者およびベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。
21. バットについては金属製のものは検定済みのもの（J S B B）を使用すること。
22. 審判は茨木市スポーツ少年団野球部会審判部で行う。
23. グラウンドの整備は、各試合終了後、両チームが行ってください。
24. 試合中の事故などについて大会本部はその責任を一切負わない。各チームの指導者は会場に来る道中も含めて事故が起こらないように注意、指導を行うこと。